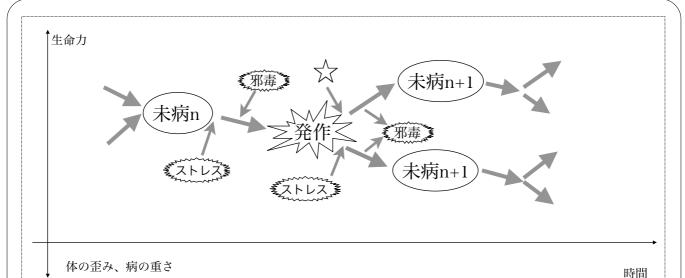
## (1) 体は自然 ① 2.未病と発作…私の疾病観



・発作を切っ掛けに病は重くも軽くもなる

・「小さな病気は、大きな病気の保険」 (良くなるため、小発作を体が起こす) ex.軽い風邪や軽い下痢(腹痛)



気持ち悪いこと

邪気…ピリピリビリビリ

- 内因
- ・外因
- 不内外因

未病n

- 病が動かないとき
- 体の歪みは有るが、 邪毒は沈静、病は潜在
- 各段階でバランス
- ①気持ち悪い
- ②体が歪む
- ③感覚異常
- ④機能異常
- ⑤器官破壊



 $\frac{1}{2}$ 

《邪毒》

気持ち良い、イイ感じなこと

水毒…汗,痰,下痢,鼻水,泪,皮膚炎

瘀血…←生理不順、怪我・手術

- - ・適切な治療

•安静

- ①少し痛みが減る
- ②発作的な自己治癒反応 (深い呼吸が特徴)

(痛みは、少し増すこともある)

- ③気持ち良く体が弛む (完全脱力弛緩状態)
- ④邪毒が排出される
- (すっきり,さわやか,透明感)

- 病が動くとき
- ・体が発する警戒警報 病は顕在化、邪毒が動く
- ・段階的に変化
- ①内より迎え (未病)
- ②外より入り (ストレス)
- ③外より内へ
- ④内なる変化
- ⑤内より外へ

**國中** 98W A

体は自然であり、

病気になるのは、風が吹いたり、雷がなったりするのと同じ自然現象であり、 鍼灸などをしたときに起こる自己治癒反応も、また、自然現象である。 それぞれに、自然の法則がある。

病を切っ掛けに生命力が上がることもあれば、下がることもある